

【基本施策 V-2-(2)】 市民生活を支援する新たな産業の育成

主な取組① 福祉産業の振興

■現状と課題

- 少子高齢化や核家族化の進展といった社会構造の変化などにより、市民の暮らしにおいて、福祉などの生活・文化面における質の豊かさ、充実が重視されるようになってきました。
- 市民ニーズ、社会環境の変化に応じた新たな成長産業の振興・育成を図っていく必要があります。
- 高齢化社会の到来により、中国・アジアでは、福祉製品のニーズが高まっています。

■計画期間(2011～2013 年度)の取組

- かわさき基準推進協議会を運営し、かわさき基準（KIS）の理念の普及、認証事業の実施、認証福祉製品普及事業、福祉・産業人材育成事業を実施し、市内中小企業の福祉産業への参入を促進することにより、KIS の普及・ブランド化を図ります。
- 市内中小企業の持つ技術が、福祉産業振興に活かされるよう試作品の製作から開発、販路開拓までの一連の支援を行います。
- 中国・アジア福祉産業等市場調査などにより、川崎発福祉製品がアジアでも普及できるよう支援を行います。
- 市内のモデルエリア事業において、セミナーを開催するほか、KIS 認証福祉製品の展示を行います。
- 福祉先進国であるスウェーデンで行われている認知症ケア手法等について、講習会や研修会を開催し、福祉サービスの高度化を図ります。
- 健康維持・増進、疾病予防、介護予防など「健康サービス産業」に関する調査を実施し、福祉サービスの高度化と拡大を図ります。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013 年度)の具体的な取組	2014 年度以降
福祉産業振興事業 かわさき基準による福祉製品の普及を促進し、福祉産業の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● かわさき基準（KIS）の策定 ● かわさき福祉開発支援センターの開設 ● KIS に基づく、福祉製品認証事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● KIS 推進協議会の運営 ● KIS 認証事業の実施 ● KIS 普及事業の推進 ● KIS 認証福祉製品の常設展示（かわさき福祉開発支援センター） ● KIS 認証福祉製品の福祉機器展示会への出展 	事業推進
かわさき福祉製品創出支援事業 本市にある工業製品開発に関する高い技術・ノウハウを活用して、福祉製品の創出を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉製品創出システム構築事業の実施 ● 福祉製品開発支援補助金（研究開発・展示会出展事業）等による支援の実施 ● 中国・アジア福祉産業等市場調査及びセミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉製品創出システム構築事業の推進 ● 福祉製品開発支援補助金（研究開発・展示会出展事業）等による支援の推進 ● 中国・アジア福祉産業等市場調査及び企業交流支援 	事業推進
福祉サービス高度化事業 「かわさき基準」の理念に基づく福祉機器等を活用し、利用者の自立を支援する福祉サービスの高度化と拡大を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉サービスセミナー、研究会等の実施 ● モデルエリア事業における福祉製品の展示及びレンタル ● 市内大学におけるスウェーデン認知症ケア手法についての講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉サービスセミナー、研究会等の実施 ● モデルエリア事業における福祉製品の展示及びレンタル ● 市内大学におけるスウェーデン認知症ケア手法についての講習会の実施と自主事業化への支援 ● 健康サービス産業の取組の推進 	事業推進

主な取組② 環境調和型産業の振興

■現状と課題

- 本市には、京浜工業地帯の中核として日本の産業を支えるとともに、環境問題に取り組んできた経過から、高度な加工技術や環境関連技術を有する企業が多数立地しています。地球環境問題が深刻化する中、こうした本市の特徴、強みを活かして、持続可能な循環型社会の構築に向け、本市発の環境調和型産業を振興していくことが求められています。
- 本市のこれまでの海外都市との交流の実績も活かし、本市に蓄積する優れた環境技術や製品を広く国内外に情報発信し、国際的なビジネスマッチングの機会を提供することにより、海外への環境技術の移転を促進することが必要です。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 国際的なビジネスマッチングの場としての「川崎国際環境技術展」を開催し、環境技術の情報発信するとともに、海外への環境技術の移転の取組を強化し、国際貢献と市内産業の活性化を図ります。
- 市内環境関連企業の海外展開をサポートするため、専門のコーディネータの配置など支援体制を充実し、コーディネート機能を強化します。
- 「環境産業フォーラム」等の開催を通じて、情報交換・情報発信を進め、事業者間のネットワーク化や環境事業クラスターの形成を促進するとともに、補助制度や専門家派遣制度等の支援メニューを活用し、製品開発、販路拡大等を図ります。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
国際環境産業推進事業 「川崎国際環境技術展」を開催し、新たな環境関連ビジネスの創出やビジネスマッチングを行い、市内環境関連企業の国際的事業展開を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎国際環境技術展」の開催 ●マッチングフォローアップ支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎国際環境技術展」の開催 ●マッチングフォローアップ支援の実施 	事業推進
環境調和型産業振興事業 フォーラムなどを通じて環境関連技術の情報交流、研究、製品開発、販路拡大を支援し、環境調和型産業の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「環境産業フォーラム」の開催 ●環境技術・製品等のデータベースの構築及び情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●「環境産業フォーラム」の開催 ●市内環境技術・製品等の情報発信・ビジネス支援 	事業推進

主な取組③ コンテンツ産業の振興

■現状と課題

- 本市は、「音楽のまち」・「映像のまち」の取組の推進や、映像・音楽関係の教育機関やシネマコンプレックス、スタジオ、ホールの立地など、文化・芸術・映画・音楽といったコンテンツを生み出す環境に恵まれています。また、本市は、日本有数の工業都市であり、製造品出荷額等だけでなく、1事業所あたり出荷額や付加価値額も18大都市中1位となっています。（2008年大都市比較統計年表）
- コンテンツを創造するクリエイターを顕在化させ、市内の様々な事業者とつなぐことにより、更なる技術力の向上や、製品・サービスの付加価値を高めることが課題となっています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 2009年度に策定した「コンテンツ産業振興ビジョン」に基づき、施策全体を牽引するリーディング事業を実施することにより、コンテンツ産業の振興と市内企業の活性化を促進します。
- クリエイター・企業・大学・行政が連携し、クリエイターの育成、創作活動の場の創出、コンテンツ活用におけるモラルの醸成、クリエイターに対する事業化の支援、地域資源を活かした製品開発の促進など、創造・保護・活用の各段階に掲げる施策を積極的に展開していきます。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
コンテンツ産業振興事業 「ゴジデジツが持つ力をあらゆる業種で活用し、情報発信力や付加価値の高い製品・サービスの企画提案力、販売力、集客力などを醸成することにより、市内産業の活性化を図ります。」	●「コンテンツ産業振興ビジョン」に基づくリーディング事業の実施 ●コンテンツフォーラム等の開催	●本市産業を底上げするコンテンツ等のコンペの実施 ●コンテンツ活用に係る著作権などのセミナー等の実施 ●クリエイター・市内事業者等による交流会・研究会の実施 ●コンテンツ・IT企業のニーズの把握 ●コンテンツフォーラム等の開催	事業推進

【製品特徴の「見える化」による販売促進事例】



コンテンツ産業フォーラム（2010年3月）



※製品の優れた性能や特徴を動画等を用いて誰にでも理解できる内容に映像化して顧客の理解度を上げ、販売促進につなげた事例

【基本施策 V-2-(4)】 科学技術を活かした研究開発基盤の強化

主な取組① 先端科学技術の振興

■現状と課題

- 本市には、試作・製品開発・加工など幅広いものづくり産業の集積とともに民間企業や大学などの 200 を超える研究機関が集積しており、生産機能から研究開発機能への転換など、高度な技術・知識を活かした高付加価値型の産業構造への転換が進んでいます。
- こうした本市の特徴・強みを活かしつつ、引き続き、本市が国際競争力を維持していくためには、環境・エネルギー、医療・ライフサイエンス等の成長産業分野を中心に高い汎用性が期待できるナノ・マイクロ領域のものづくり技術での優位性を確立し、先端科学技術を活かした製品化・産業化を進め、市内産業の振興につなげていく必要があります。

■計画期間(2011～2013 年度)の取組

- 新川崎・創造のもり地区にナノ・マイクロ産学官共同研究開発施設を整備し、殿町3丁目地区を中核として形成を図るライフサイエンス、環境分野の国際拠点との連携を図りつつ、市内企業のものづくり技術の高度化や産業イノベーションの創出に向けた取組を推進します。
- 研究者・技術者の人的・組織的交流を推進し、ナノ・バイオ・ライフサイエンス分野の企業・大学・研究開発機関等のネットワーク化・技術交流及び産業交流を促進するとともに、川崎の地から最先端の科学技術に関する情報を発信することにより、先端技術分野における連携基盤の強化と市内産業の活性化を図ります。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013 年度)の具体的な取組	2014 年度以降
新川崎・創造のもり第3期計画推進事業 先端科学技術・新産業創造の研究開発拠点の形成と次世代を担う子どもたちの科学技術への夢を育む場の形成を推進します。	●基本合意に基づいた 4 大学コンソーシアムによる KBIC での活動推進 ●第3期地区に係る基本計画等の策定に向けた取組	●計画に基づく第3期地区の「ナノ・マイクロ産学官共同研究開発施設」の整備 ●施設における産学連携事業の展開	事業推進
ナノ・バイオ・ライフサイエンスの推進事業 産学公連携による研究開発、事業化の促進を図るとともに、最先端の科学技術に関する情報発信を行います。	●ライフサイエンスネットワーク事業の実施 ●サイエンス&テクノロジーフォーラムの実施	●ナノ・バイオ・ライフサイエンスネットワーク事業の実施 ●サイエンス&テクノロジーフォーラムの実施	事業推進

【基本施策 V-3-(1)】人材を活かすしくみづくり

主な取組① 就業の支援

■現状と課題

- 2008年の世界的な金融危機の影響による経済の衰退、景気の低迷に伴う雇用情勢の悪化や、労働関係法令制度の制定・改正など、雇用労働環境が大きく変動しており、求職者・労働者に対する就職活動の支援や労働相談の充実が求められています。
- 年長フリーターや若年無業者数が高止まりのなか、職業的自立に向けた若年者に対する就業支援の拡充が求められています。
- 有効求人倍率が低水準で推移する状況においても、福祉分野等では恒常的な人材不足が続くなど雇用のミスマッチの解消が求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 「キャリアサポートかわさき」の機能拡充を図り、相談から研修、求人情報の提供、就職、職場定着までの総合的就業支援を推進するとともに、雇用情勢に即して事業の拡充を図ります。
- NPO法人が運営する「かわさき若者サポートステーション」及び関係機関等と事業連携を図り、職業的自立に向けて、若年者に対する一体的・継続的な就業支援を実施します。
- 川崎市地域雇用創造推進協議会と連携し、市内における福祉産業の振興と福祉サービスの向上をめざすとともに、人材育成研修及び就業支援等を推進するため、「地域雇用創造推進事業」を実施するとともに、この事業で育成した人材等を活用した「地域雇用創造実現事業」を実施し、地域の雇用機会の増大と地域の産業及び経済の活性化等を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
雇用労働対策・就業支援事業 労働相談を実施するとともに、求職者等に対する就業カウンセリング等の実施により、相談から就職までの就業支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●労働相談、街頭労働相談会の実施 ●「キャリアサポートかわさき」の機能拡充 ●「ふるさと雇用再生事業」、「緊急雇用創出事業」等による雇用の創出 ●「かわさき若者サポートステーション」の開設 ●就業支援ポータルサイト「JOB-L かわさき」の構築 ●KISと連携した地域雇用創造推進事業及び地域雇用創造実現事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●労働相談、街頭労働相談会の実施 ●「キャリアサポートかわさき」の機能拡充 ●「ふるさと雇用再生事業」、「緊急雇用創出事業」等による雇用の創出 ●「かわさき若者サポートステーション」との連携による若年者の職業的自立に向けた支援の推進 ●就業支援ポータルサイト「JOB-L かわさき」のコンテンツの充実 ●KISと連携した地域雇用創造推進事業及び地域雇用創造実現事業の実施 ●新たな人材育成・雇用創造計画の策定 	事業推進

【基本施策 V-3-(2)】勤労者施策の推進

主な取組① 技術・技能の振興奨励

■現状と課題

- 技能職者は、本市産業の維持・発展や市民の豊かでゆとりある生活に不可欠ですが、環境の変化、価値観の多様化、高齢化などにより、取り巻く状況は大変厳しいものとなっています。
- 後継者不足・技能継承への取組として、教育機関や産業現場への派遣や市民啓発イベントへの出展など勤労者福祉の観点による振興施策が求められています。
- 安定的な事業継続を支える収益力強化のためには、情報発信の充実や技術・技能の活用促進など経済振興の取組が必要となっています。
- 本市の技術・技能職者の最高峰として、技術・技能職者の将来像・理想像を提示するために「かわさきマイスター」制度のより一層の充実が求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 市民啓発イベント「技能フェスティバル」、学校での技能体験「技能職者に学ぶ」、市民向け講習会、若手技術者向け技能研修会などの開催や技能功労者等表彰の効果的な実施など技能職団体活性化の取組を進めることにより、技能奨励・後継者育成・人材育成に向けた事業を強化します。
- 経済振興の取組を導入し、収益力向上に向けた研究会の開催、商談会への出展、積極的な情報発信などを推進することにより、ビジネス拡大や技術・技能の活用促進を図ります。
- 卓越した技術・技能職者を「かわさきマイスター」として認定するとともに、収益力向上、熟練した技能の活用・継承、積極的な情報発信への取組を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
技能奨励事業 技術・技能の紹介活動、技能職団体の支援育成や後継者育成を図るとともに技能職者の活性化のために経済的な振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民啓発イベント「技能フェスティバル」の開催 ●中学生を対象にした「技能職者に学ぶ」の推進 ●技能職団体や認定職業訓練校の活動支援 ●技能功労者等表彰の実施 ●市民向け講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●商談会のニーズ調査・研究会の開催 ●商談会へ出展・開催（ものづくり・製造業系、市民サービス系） ●技能職団体連絡協議会の加盟団体増加策の検討・実施 ●「技能職者に学ぶ」の実施（全区） ●市民・若手技術者向け講習会の実施 ●「技能フェスティバル」の効果的な実施 ●技能功労者等表彰の効果的な実施 ●技能職者の魅力ある多様な情報発信 	事業推進
かわさきマイスター制度事業 卓越した技能職者を認定し、技能を尊重する社会の形成・技能継承・後継者育成を支援するとともに、将来の技能職者のあるべき姿を提示します。	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきマイスター認定 ●マイスターの技能を活かしたものづくり事業の検討 ●インターネットを活用した情報発信の取組 ●教育現場や企業と連携した実技指導・技術指導・市民向け講習会の開催 ●市民啓発イベントへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきマイスターの認定 ●商談会のニーズ調査・研究会の実施と商談会への出展・開催 ●マイスターの技能を活かしたものづくり事業の推進 ●情報発信の充実・強化 ●講演会・実技指導・講習会の開催 ●県、横浜市と連携したイベント等の開催 	事業推進

【基本施策 V-4-(1)】 臨海部の産業再生

主な取組① アジア起業家村構想の推進

■現状と課題

- 川崎臨海部は、羽田空港に隣接する立地ポテンシャルを活かして、アジアからのベンチャー企業等を誘致・育成し、市内企業との人的・技術的交流を促進することで、地域経済の活性化を図ることが求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- アジアからの起業家の創業拠点づくりをめざした「アジア起業家村構想」の基盤強化に向けて、アジア主要都市からの企業誘致活動を積極的に展開します。
- 産業振興財団、かながわサイエンスパーク(KSP)、NPO 法人アジア起業家村推進機構等との協働により、アジア起業家村進出企業に対する創業支援、経営支援、生活支援等を実施し、その育成・成長を支援します。
- 環境技術移転については入居企業へのビジネス支援のほか、「川崎国際環境技術展」等を通じたアジアへの移転に取り組むとともに、上海市浦東新区との覚書などに基づき具体的な技術協力案件の具現化を図ります。
- 殷町3丁目地区に整備予定の(仮称)産学公民連携研究センターでは、アジア起業家村構想の推進によって培われたネットワークを活かし、センターを中心としたコーディネート機能を果たします。



アジア起業家村拠点施設 (THINK 内)

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
アジア起業家誘致交流促進事業 アジアからベンチャー・企業を誘致・育成するとともに、市内企業との人的・技術的交流を推進することにより、市内産業の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●アジア起業家村 (THINK 内) への起業家・企業の集積 ●アジア起業家村入居企業に対する支援の実施 ●THINK での入居者支援とあわせた支援機関相互の連携の促進 ●上海市浦東新区などとの環境技術交流事業の実施 ●国際環境技術展を通じた環境技術移転の促進 ●環境・ライフサイエンス分野の外国企業等の誘致促進 ●(仮称)産学公民連携研究センターでの拠点整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●アジア起業家村 (THINK 内) への起業家・企業の集積 ●アジア起業家村入居企業に対する支援の実施 ●THINK での入居者支援とあわせた支援機関相互の連携の促進 ●上海市浦東新区などとの環境技術交流事業の実施 ●展示会を通じた環境技術移転の促進 ●環境総合研究所と連携した行政・環境産業交流の促進 ●(仮称)産学公民連携研究センターでの入居企業誘致と支援等 	事業推進